

虹のたより

コープおおいた機関紙

信頼される商品を食卓へ！



「虹のたより2月号」を編集している12月中旬、「師走」ということもあり、時間が短く感じます。お店は緑と赤を基調としたクリスマスの売り場となり、クリスマスが終わればすぐに年末準備と慌ただしい時期を迎えます。組合員の皆様がお正月を笑顔で迎えられるように職員一同、準備を進めています。2020年も皆様のお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

2020年 2月号

発行日：1月21日発行 (Vol.716)
発行：生活協同組合コープおおいた
大分県大分市青崎1-9-35
編集：役員室 広報課

お知らせやイベント情報を
ホームページで掲載！



12月21日(土) 参加者：500名

「親子deクリスマスパーティー」

大分市の明日香美容文化専門学校で大人気企画のクリスマスパーティーを開催し、ご応募いただいた601名の中から抽選で選ばれた500名(午前の部 250名・午後の部 250名)に参加していただきました。会場に入ってきた子どもたちは始まるまでワクワクした表情で待っており、お父さんやお母さんと楽しそうにおしゃべりしていました。

はじめに絵本の読み聞かせを行ない、ザ・キャビンカンパニーの「クリスマス★げきじょう」や触れるだけで飾り付けができる、「不思議なケーキ」のパネルシアターを行ないました。子どもたちの好奇心を刺激し、会場の様々な場所から楽しそうな声が聞こえてきました。その後、キラキラした三角帽子、クリスマスベルを親子で作りました。お気に入りのシールを貼り付けたり、好きな形に作ったりとそれぞれの個性が光る作品が出来上がりました。

みんなで踊ったり、歌ったりするコーナーでは、コーすけも登場して「ちょっとだけ体操」や「ジングルベル」と一緒に歌い、その日一番の笑顔を見ることができました。

最後にサプライズゲストとしてサンタクロースが登場し、子どもたちは少し怖がりながらも「ありがとう」と言いながら、クリスマスプレゼントを受け取っていました。帰り際、コーすけやサンタさんと一緒に記念撮影をしていた笑顔が、とても輝いていました。



12月15日(日) TOSハウジングメッセ

コープミニフェス & にじいろマルシェ

TOSハウジングメッセにて、コープおおいたを知っていただくためのイベント「コープミニフェス」と手作り雑貨などを販売するイベント「にじいろマルシェ」を開催しました。

コープおおいたのブースではコープ商品の試飲や試食、野菜販売、グループ会社の(株)ハートコープおおいたが育てた菌床しいたけの販売、牛乳パックとトイレットペーパーの交換会など、たくさんの催し物を行ないました。

寒い時期にピッタリの温かいスープやおでんを試食に用意したところ、来場者にとっても好評でした。子どもたちにはゼリヤや綿菓子、バルーンアートをプレゼント。マルシェのブースではお菓子や雑貨などのかわいいものが満載で、家族で楽しめる内容となりました。

今回のイベントはより多くの方にコープおおいたを知っていただき、事業の内容や様々な活動を伝えられるイベントでした。



12 つくる責任
つかう責任



12月13日(金) 参加者：34名

「知ろう! 学ぼう! 認知症キャンペーン」

大分合同新聞社主催、SOMPOひまわり生命保険協賛の認知症キッズサポーター養成講座が昭和電工武道スポーツセンターにて開催されました。今回の講座は小学校3～6年生のトリニータU-12チームに所属する34人が参加しました。講師は認知症サポーター養成講座の講師資格を持ったコープおおいた職員の高野 基治が務めました。

認知症の症状や支援方法を資料や紙芝居を使い、わかりやすく講義しました。認知症特有の行き場所が分からなくなったり、物を盗られたと思い込んだり、元気がなくなったりするなどの症状の説明を行ない、その時の対処方法を子どもたちに伝えました。子どもたちは真剣にメモを取り、集中して話を聞いていました。講座終了後、認知症サポーターの証としてオレンジリングを渡しました。

今回の講座を通して、普段から優しい心を持ち合わせた大人に成長してほしいと思います。



11 住み続けられる
まちづくりを



12月26日(木) コープ学童クラブしもごおり
12月27日(金) コープ学童クラブほうふ

コープ学童クラブ お餅つき大会

12月下旬、コープ学童クラブしもごおり、ほうふでお餅つき大会を開催しました。毎年行なっている恒例行事ですが、初めて参加する子どもたちも多く、普段できないお餅つきを楽しそうにしていました。大人が餅つきをしているときには「おもち! おもち!」「べったん! べったん!」と大きな声で応援し、会場を盛り上げてくれました。

その後、おもちを団子状に成形し、あんこやきなこ、砂糖醤油など好きな味を付けて食べました。伸びるお餅を友達同士で見せ合い、楽しそうに過ごしていました。

最後に「おいしかった! 来年もおいしいお餅が食べたい!」とうれしい声が聞こえ、準備に携わった職員も満足そうな表情で、とても良い雰囲気の中で終了しました。



4 質の高い教育を
みんなに



「ヒバクシャ国際署名」 ～ 被爆者は核兵器廃絶を心から求めます ～

生協が事業や活動を行なえるのは「平和」であるからこそであり、生協運動の原点は「平和とよりよい暮らし」です。今となっては、「平和」であることは当たり前のことですが、それは過去の悲惨な戦争を経て、先人たちが築きあげてきたものです。

「ヒバクシャ国際署名」は、「後世の人々が生き地獄を体験しないように、生きている間にも何としても核兵器のない世界を実現したい」という被爆者の想いから始まっています。

全国の生協で集められた署名数は2,419,833筆 [9月20日(金)時点]



11月21日(木)～11月27日(水)の期間、コープおおいた6店舗で行なわれた署名活動では428名の方に署名をいただきました。署名活動にご賛同していただいた皆様、ありがとうございました。

「ヒバクシャ国際署名」はスマートフォン、パソコンからでも署名できます。活動にご賛同いただけましたら、ご署名よろしくお願い致します。

コープおおいたは2016年4月より、ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶を願う「ヒバクシャ国際署名」を行なっています。

「ヒバクシャ国際署名」QRコード



16 平和と公正を
すべての人に



